

野菜プロジェクト

～生産者と消費者の架け橋～

代表者 小林 未佳 (農学部応用生物科学科3年)

1、目的と概要

香川県は野菜摂取量が男女でワースト1・2位です。しかし、香川県の農産物の生産量は全国の精査案量のトップ10に入るものも多くあります。私たちはなぜこのようなギャップが生じるのか疑問に思いました。そこで、私たちは農学部生としてこの問題を解決するためにまずは、香川県の人々に野菜に興味・関心をもってもらうことが大切だと考えました。このプロジェクト事業は、野菜に興味・関心をもってもらうために、「野菜アイスの製造・収穫体験・料理教室・ブログ・各種イベントの参加」という活動を行いました。

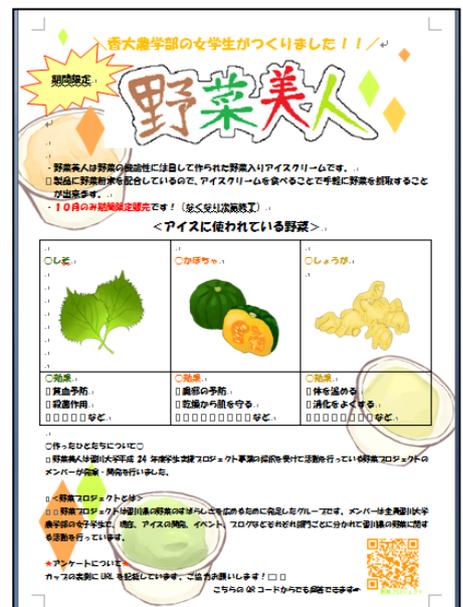
2、実施機関 (実施日)

平成24年8月1日 から 平成25年2月22日まで

3、成果の内容及びその分析・評価等

(1) 野菜アイスの製造

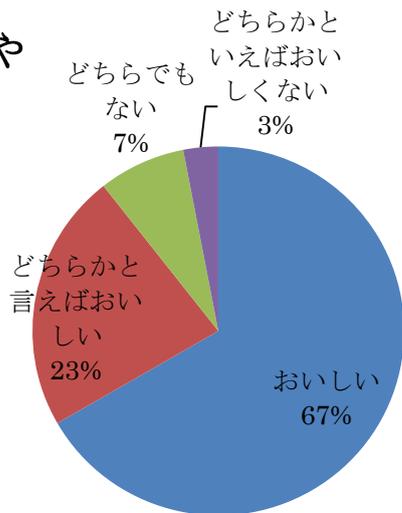
アイスクリームに野菜を入れることで野菜嫌いな人でも抵抗感が低くなると思い実施してみました。ターゲットを20代女性に絞りました。20代は他の年代に比べ野菜の摂取量が少なく、女性は新しいものに敏感であることが理由にあげられます。初めに、健康面で気にしていることをアンケート調査しました。その結果「貧血・冷え性・肌荒れ」を気にしている方が多いと分かり、それを改善できる機能性をもった野菜をピックアップし試作を繰り返していきました。そして「かぼちゃ・シソ・生姜」味になりました。



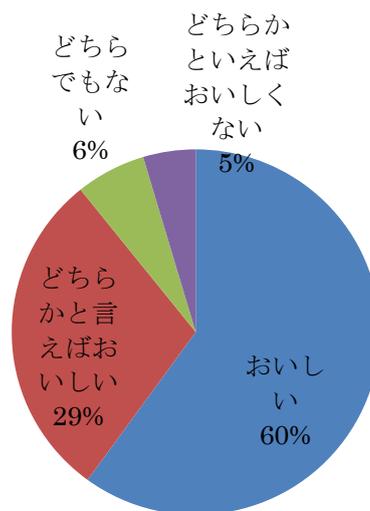
アンケート結果 (158名)

Q. 味はどうでしたか？

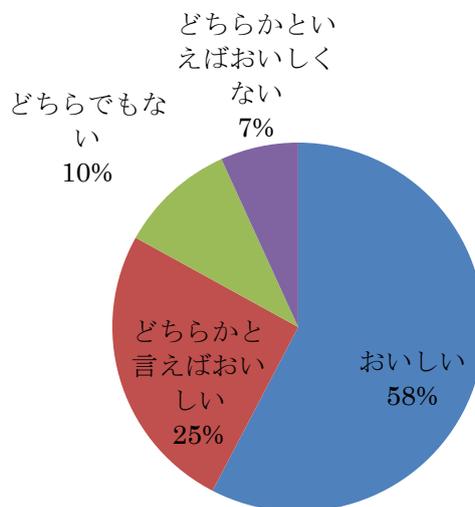
かぼちゃ



シソ



生姜



3種類の中ではかぼちゃが1番、高評価でした。

Q. 野菜アイスを食べてみて野菜の関心はどう変わりましたか？

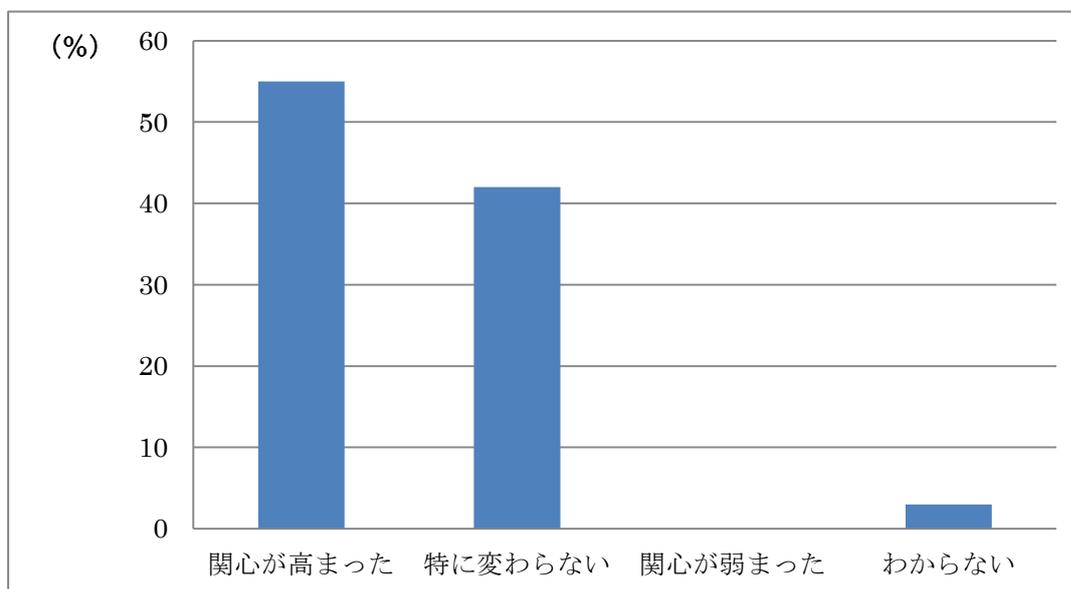


図 1 野菜アイスのアンケート結果

半数以上の方が関心が高まったと回答しました。

感想

野菜の粉末を加えたことで、アイスの味の意外性に着目してもらえ、さらには含まれている野菜の効能についても興味を抱かせることができたと思います。私たちが、女子大生を中心に健康に関してかかえている悩みについてアンケートを行った結果が、食育に携わっている方にとって、参考になったように思われます。また、アイスクリームの商品化についてアドバイスを受けた農家さんには、農家さんの交流会・イベントに参加させてもらえたりして、学生と地域社会のチェーン(繋ぎ)ができました。

自分たちの学生生活にも影響がありました。元々、食品の開発や製造に興味があった学生も多かったことより、今回のアイスクリームの商品化では、商品企画・開発・流通の段階を経験することができ、企業での仕事をより具体的に認識するきっかけになったと思います。また、1つの商品を作り上げていくにあたり、社会人を含めた多くの方の協力を得ることができ、人脈も行動範囲もかなり広がりました。それから、アンケート調査を行った野菜の摂取を勧めることで、自分達の食生活も見直す良い機会になりました。

反省点としてはアンケートの意見欄より、アイスクリームを販売する際に、なぜこの野菜を選んだのか、をもっと具体的に説明するべきでした。他にも、アイスクリームを商品化してはどうか、といったような意見を多数いただけたので、農学部ブランドとして香川大学のみで販売してみたいと思いました。

商品開発の段階をじかに経験でき、よかったです。交友関係・活動範囲もがらりと変わり、視野が広まりました。自分達の想い(野菜への関心の向上)が伝わったことに、とても達成感を感じました。

最後に、野菜アイス製造にあたり協力していただいた株式会社クールドライマシナリーの柳川様、OTTIMOの飯間様、香川大学食堂の方々に感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

(2) 収穫体験

- ・開催日程：2012年11月18日(日)10:00~14:00
- ・開催場所：香川大学農学部附属農場
- ・総参加者数：28名
- ・イベントの目的：収穫体験を通じて参加者が生産の現場に関わる機会を持ち興味をもってもらうことで第1次生産に携わる人を増やすこと。
- ・タイムスケジュール

タイムスケジュール	
10:00	参加者、農学部に着・バスで出発
10:30	農学部附属農場に着
10:30~11:30	諸注意後、野菜収穫
11:30~13:15	もちつき・豚汁作り・焼き芋作り
13:15~13:30	アンケート記入
13:30	参加者、バスに搭乗・出発
14:00	参加者、農学部に着・解散

内容

- ・5種類の野菜の収穫
- ・もちつき体験
- ・シチュー、収穫野菜を使った鍋
- ・焼き芋作り

・アンケート記入

5種類の野菜の収穫

香川大学農学部附属農場で育ててあるかぶ、白菜、水菜、さつまいも、ネギ、大根の収穫を行った。参加者全員で各野菜を順番に収穫した。収穫する際にそれぞれの野菜の簡単な説明を行い、野菜に関する知識を深めてもらった。



もちつき体験

野菜の収穫が終わったあと、事前に蒸しておいたもち米を用いてもちつきを子供たちに体験してもらった。もち米は農場で育てていたものを使用し、石臼と杵を用いた。子供たちには怪我がないように細心の注意を払いながらローテーションで体験してもらった。もちつきをやりたい！という子供が多く、交代させるタイミングが難しかったように思える。ついた餅は皆で丸めてもらい、あんこや醤油につけて食べてもらった。もちつきは2回行ったが2回目になると子供たちも上達していたのか、上手く餅をつけていたように思う。楽しそうに餅をついたり食べたりする姿が印象的であった。



シチュー、収穫野菜を使った鍋

収穫野菜を用いた鍋だけでは鍋が出来上がるまでに時間が空くのではないかと、という指摘があり、スタッフが事前にシチューを作ることにした。シチューの素材はスーパーで買ってきたものを用いた。

収穫野菜を使った鍋は2種類用意した。水炊き鍋を2種類作った。調理には包丁を用いるために危険が伴うこと、人数分の道具が用意できなかったことから調理はスタッフが担当した。鍋作りはもちつきを体験している間に行い、なるべく鍋と餅が共に食べられるようにした。

野菜をたくさん食べられるようにしたため、また収穫野菜をすべて使うようにしたため、量が多くなってしまい食べきれなかったことが反省点であるが、参加者は好き嫌いせずに食べてくれた。野菜好きな子供が増えて香川の野菜摂取不足に少しでも貢献できればいい、と思った。

焼き芋作り

収穫しさつまいもを焼き芋にしてもらった。焼く機械は農学部の諸隈正裕准教授にお借りした。小さいさつまいもが多く鍋や餅で参加者のお腹もいっぱいになっていたため、今回の収穫体験のお土産として持ち帰ってもらった。

アンケート結果

すべてが終わった後、アンケートに協力頂いた。1家族につき、1枚のアンケートとした。

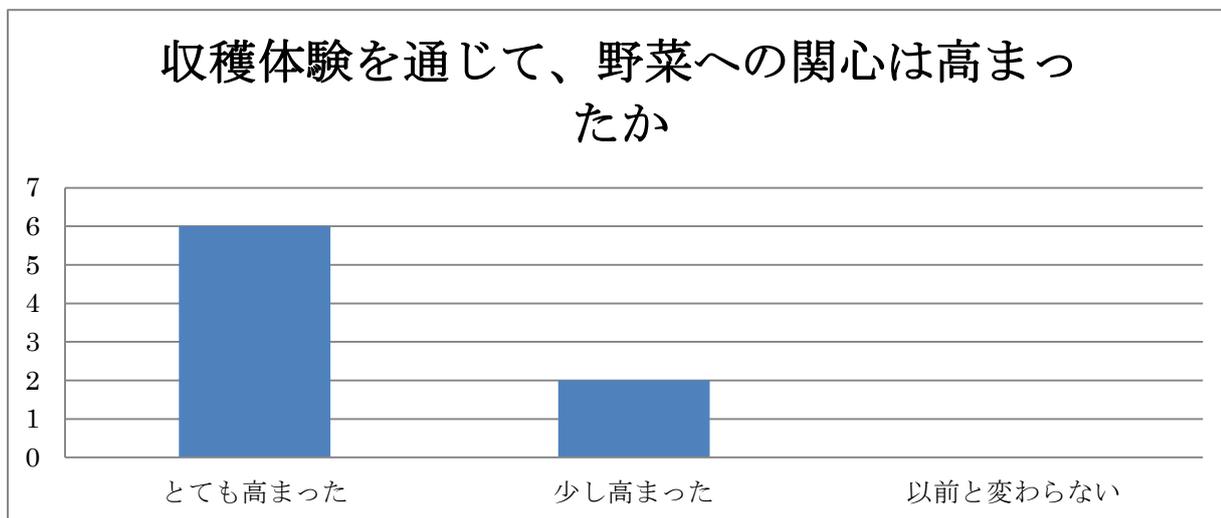


図 2 収穫体験のアンケート結果

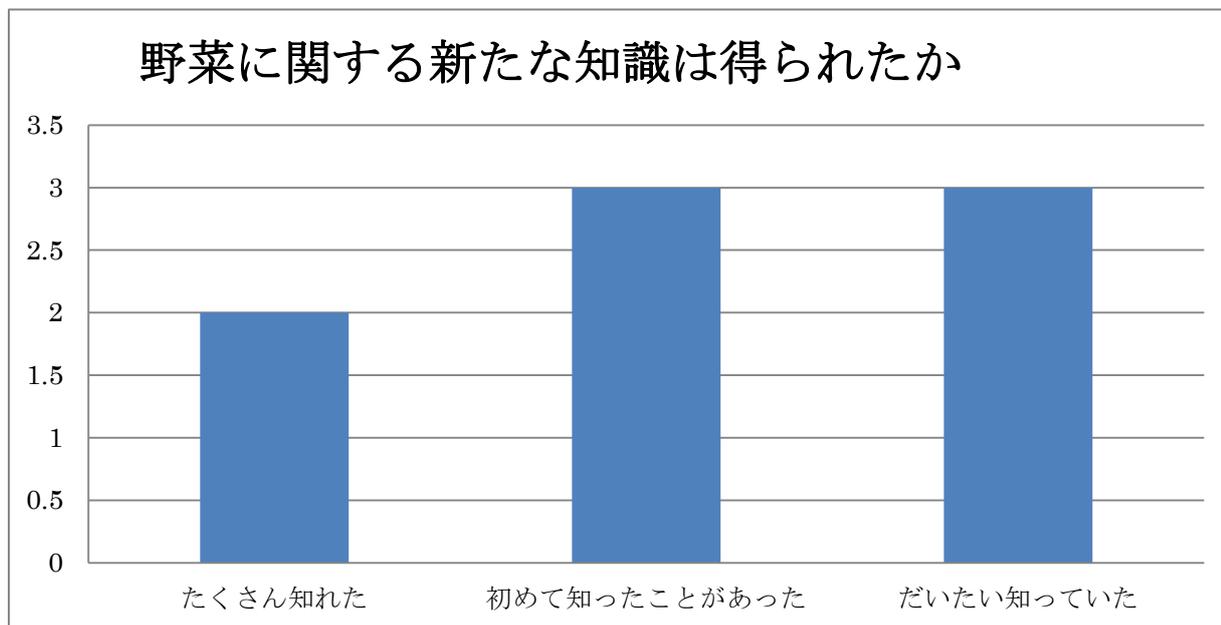


図 3 収穫体験のアンケート結果

感想

本来土曜日に行くはずであった収穫体験は雨により日曜日の開催となった。最も困難であったのは参加者への連絡であった。すべての参加者に連絡メールを送ったが、相手側のメール受信ができずに連絡が行き届いてない参加者もいた。今後はこのようなことがないようにしなければならない。連絡手段の徹底が課題と思われる。またスタッフ同士の負担の大きさの違いも問題だと思われた。一部のスタッフに責任がかかりすぎていたように思われる。同じイベントを作っていくスタッフであるからこそ、負担は平等に行えるようなマネジメントを行えるようになるべきだと感じた。

企画に関してはおおむねうまくいったと思われる。アンケートを見ても参加者の満足度は高いようであった。反省点としては鍋の量が多すぎたこと、それと調理体験ができなかったこと、野菜に対して興味関心をさらに持ってもらうことができなかったことだと思われる。参加者がもともと野菜に関する興味関心が高かったことが1つの原因であると思われるが、こちら側の企画において、野菜に対する知識を与えることよりも収穫体験を楽しいと感じてもらうことに重点をおきすぎていたように思われる。もう少し興味関心を引けるように企画作りができていればさらに意義のある体験になったように思われる。

今回収穫体験を通じて少しでも1次生産に関わる人数が増えていけばよいと感じた。

最後になりましたが、当日場所を提供して頂いた香川大学農学部附属農場の関係者の皆さまと、当日に力を貸して頂いた諸隈正裕准教授に感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

(3) 料理教室

開催日時：12月23日(日)10時～13時

場所：香川県社会福祉センター

タイムスケジュール	
10:00	香川県社会福祉総合センターに集合
～10:15	小麦粉をこねる
～10:45	生地を寝かす、講演(末原さん)
～11:15	生地をのばす
～11:45	麺をゆでる
～13:00	試食、アンケート記入



野菜ソムリエの末原さん

内容

- ◎野菜うどんの麺打ち体験
- ◎野菜ソムリエ末原先生を招いての講習会
- ◎野菜うどん実食
- ◎アンケート

アンケート結果

Q. 野菜うどんの味はどうでしたか？

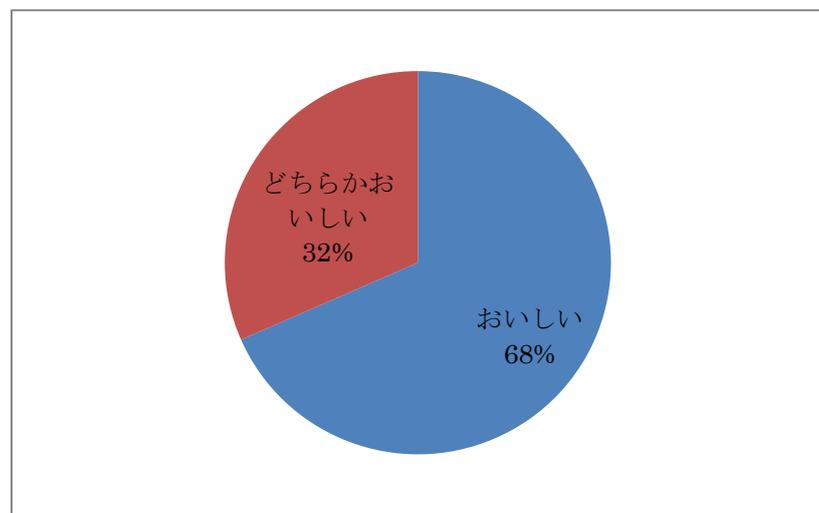


図 4 料理教室のアンケート結果

Q. 野菜うどんを作って、野菜に関心が高まりましたか？

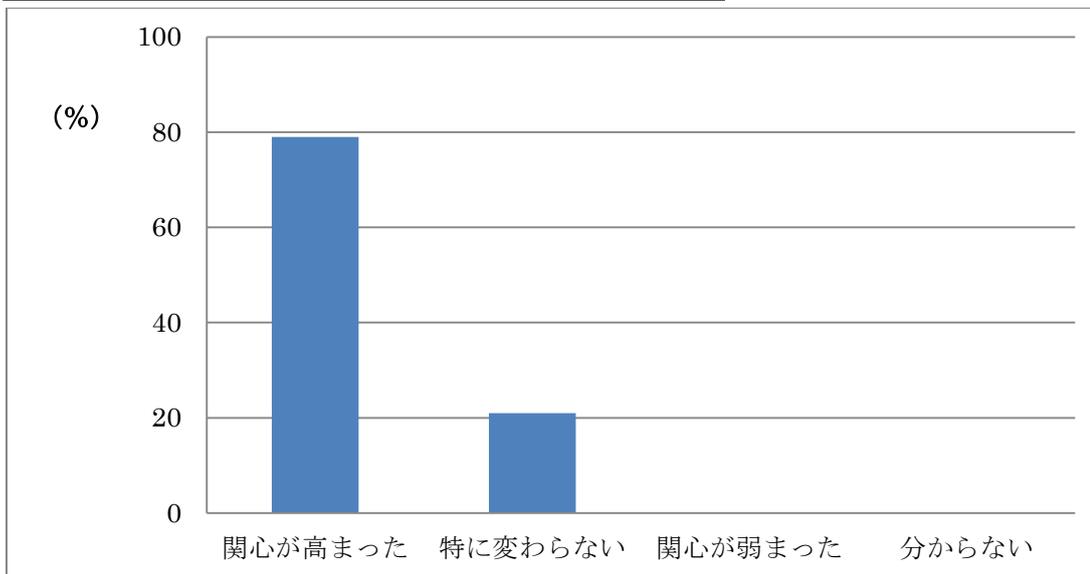


図 5 料理教室のアンケート結果

反省・感想

料理教室を開くことが初めてで、手間取ることも幾度かありましたが、どの方も終始笑顔で楽しく参加して下さいましたのが幸いでした。麺の色が野菜の色に染まっていくことに驚き、野菜風味の麺に興味津々に食べている子供達を見て、楽しく食育に触れる場を設けることで食育に対する関心を高めていって欲しいと感じました。

野菜プロジェクトは私自身も野菜に興味を持つきっかけになりました。企画を実行する大変さも分かり、よい経験になりました。今では野菜を使ったものではお菓子など様々な商品がありますが、うどんというのは香川県ならではの野菜の消費量が少ない香川県民にとっても興味を持ちやすいものになったのではないかと思います。

最後に、料理教室に講師として協力して下さった野菜ソムリエの末原俊幸様に感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

(4) ブログ

ブログでは野菜のことについてやイベントの告知、報告を行って活動内容を多くの方に知ってもらえるよう心がけました。ブログを読んだ方のアンケート結果です。香川県は野菜摂取量が最下位なのを知っていましたか？という質問項目では多くの方が知っていました。ブログを読んで、関心・興味を持ちましたか？という質問項目では、多くの方が興味・関心をもったと回答しました。

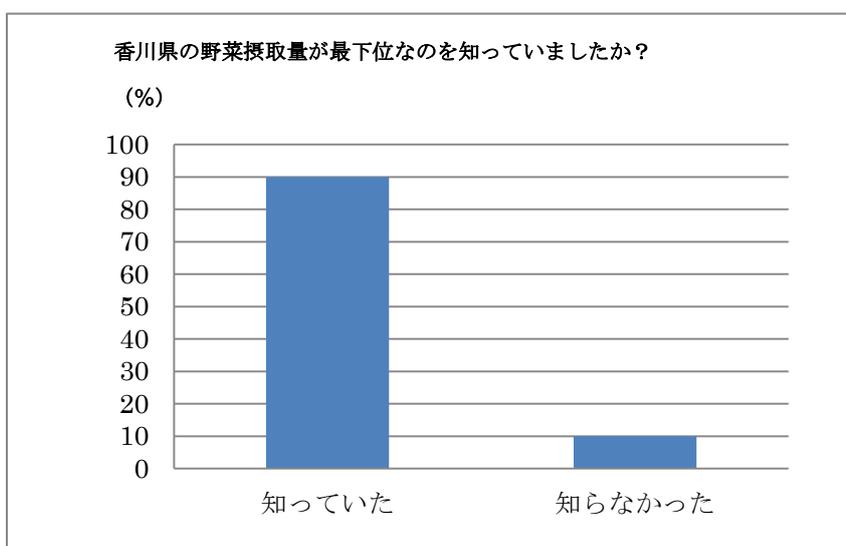


図 6 ブログのアンケート結果

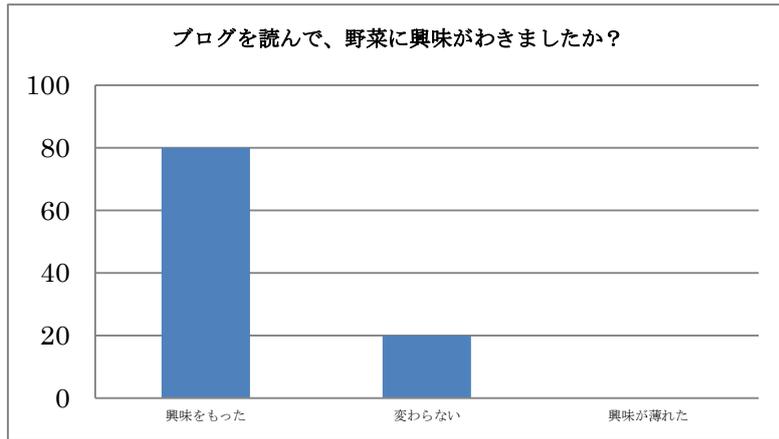


図 7 ブログのアンケート結果

感想

ブログでは、香川県の野菜摂取量の現状を知り、おいしく楽しく食べられる野菜について様々な人を知ってもらおうと努力しました。また、調べていくうちに私の知らない野菜の新しい面を見つけられ、私にとって新知識を提供してくれました。イベントでは、人とふれあい、野菜をどのようにとらえているのかが分かりました。さらに、イベントを実行する上で準備や人手などの必要性、実際に実行してからの反省点が見え、イベント開催に関してもとても参考になりました。野菜プロジェクトは私に野菜への関心を高めてくれました。このプロジェクトに参加出来て良かったです。

(5) 各種イベント参加

10月27日に三木町で行われた「まんで願」というお祭りや収穫祭、世界糖尿病デーイベントに参加しました。活動内容の発表をポスター展示で行ったのと収穫体験や料理教室の告知をしました。活動内容に興味をもってくださる人や糖尿病を心配している人などいろいろな地域の方とお話しすることができました。



まんで願



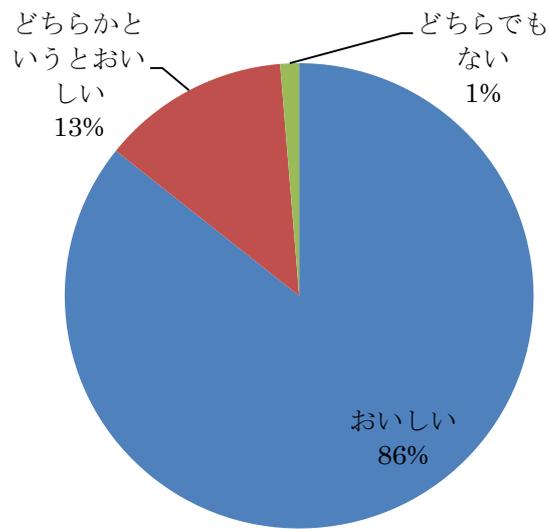
世界糖尿病デーイベント

野菜うどん試食会



アンケート結果 (77名)

Q. 野菜うどんの味はどうでしたか？



Q. どの味が一番おいしかったですか？

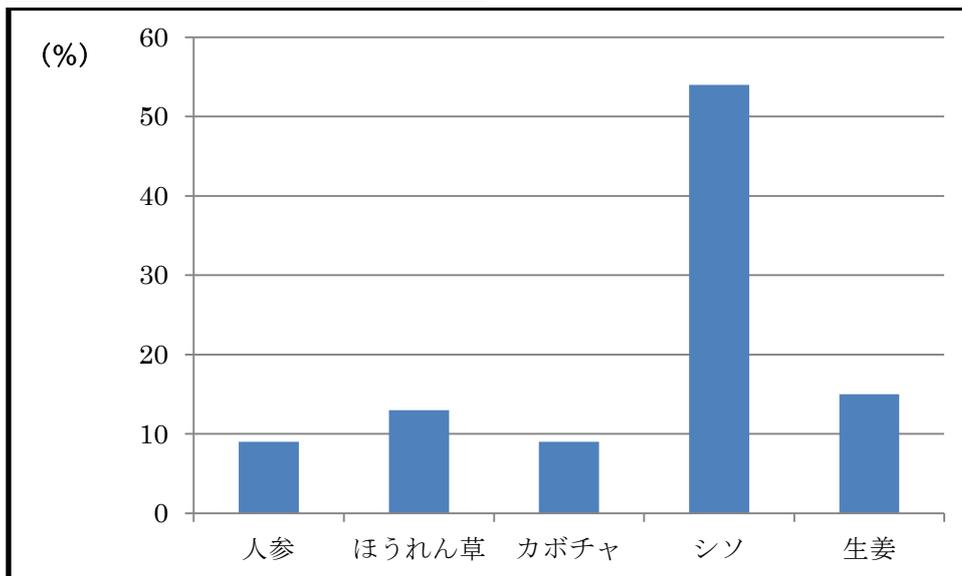


図 8 野菜うどんのアンケート結果

Q. 野菜うどんを通して、野菜への関心はどう変わりましたか？

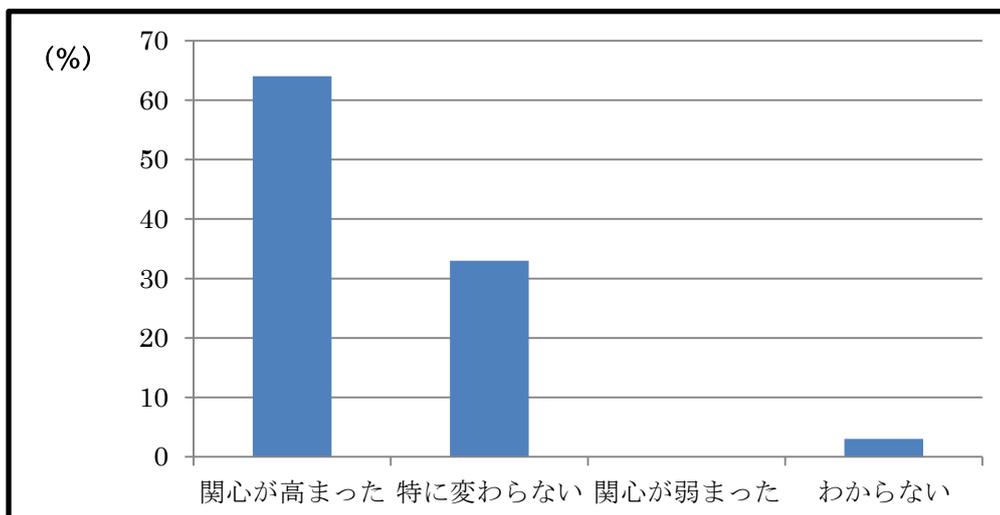


図 9 野菜うどんのアンケート結果

感想

香川県はうどんをよく食べるのでうどんの麺に野菜を練り込むことは野菜摂取に繋がるだけでなく、興味・関心を引きやすいと思いました。

4、この事業が本学や地域社会に等々与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、学生・地域の方・業者の方と接することができ香川県の野菜のPRや新たな食の提案を行うことができました。また、意見を交わすことで、地域の方々や学生の方がどんなことに気を付けているのかを知り、商品開発やイベントに役立てることが出来ました。特に野菜うどんは香川県の食文化と新たな食の提案として大きな影響を与えました。

5、自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

野菜アイスでは市場調査に始まり商品開発から販売まで商品ができる一連の流れを体験することができました。これは、授業では習うことができない貴重な経験となりました。他にも、収穫体験や料理教室といったイベントでは集客するときの大変さやイベントに手伝ってくださる方と協力することの大切さを学ぶことが出来ました。

本プロジェクトを通して授業では習うことのできない体験や業者の方・地域の方・農家の方といった普段接することのない人たちと交流することができ、視野を広げることができました。

6、反省点・今後の抱負（計画）・感想等

メンバーのほとんどが、商品開発やイベントを行うことが初めてで右も左も分からない状態で手探りで進んで行きました。最初は「上手くいくのだろうか」「ちゃんとやりとげられるだろうか」と不安だらけでした。皆で力を合わせることで、短期間でたくさんのことを実現することができました。また、頑張っていて活動しているといろんな方からイベントのお誘いをいただき活動がどんどん広がって行きました。野菜プロジェクトを行うことができるとても良い経験になりました。

7、実施メンバー

- 代表者 小林 未佳（農学部3年）
- 構成員 松岡 菜織（農学部3年）
- 足立 早映（農学部3年）
- 大西 悠香（農学部3年）
- 大平 育美（農学部3年）
- 川口 宗馬（農学部3年）
- 國方 希美（農学部3年）
- 桑田 華那（農学部3年）
- 富家 唯（農学部3年）
- 進藤 裕実（農学部3年）
- 宮脇 彩絵子（農学部3年）
- 杉本 みほ（農学部3年）
- 高木 涼（農学部3年）